

CIPA

Chugoku Interior Planner's Association
<http://cipa21.com>

中国インテリアプランナー協会

2017 vol.22
通信
communication

〒731-5135
広島市佐伯区海老園 1-13-7
（有）エルイーオー設計室 内
tel : 082-923-2132
fax : 082-922-0018
e-mail : cipa@cipa21.com



ヴァレーズ / 聖ジェルマン教会

「いとしこそは・・・」

毎年、ノーベル賞の季節になると、村上春樹応援団のハルキスト達はシャンペンを片手にして朗報を待つ。

それにしても、「騎士団長殺し」の新作二冊は力作です。

私はすでに半分、幻想と忘却の世界に足を踏み入れています。延べ千頁余りを一気に読ませ、好奇心（絵、音、車、旅、食、性）をかき立て、「二重メタファ」への新しい旅立ちを手招きしてくれるものです。

（今年こそはと願って、シングル・モルト・ウイスキーを飲みながら）

2017・5・14日高卓三

美濃和紙あかりアート展

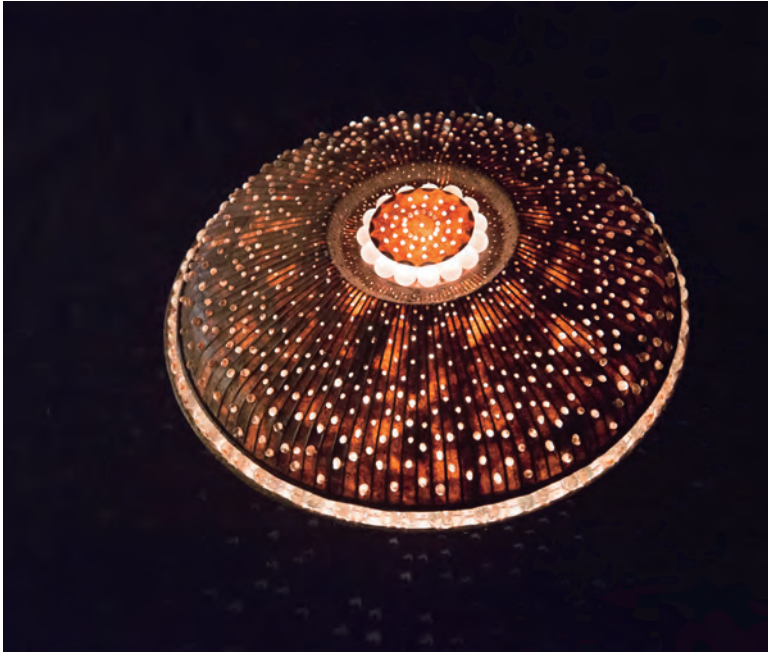
祝

「優秀賞」「JIPA会長賞」受賞

中国インテリアプランナー協会 正会員



森建築工房 森 隆



あかりアート展には、初めての参加でした。

実は、5、6年前に出展を考えたましたが、遠方のためあきらめたことがありました。

中部インテリアプランナー協会での全国大会の一つの企画に、美濃和紙あかりアート展への参加の呼びかけがあり、すぐに参加申込をしました。

コンセプトとしては、まず、並みに合う落ちついた色合いと、定感のある灯り、小さな明りで道路、建物をスクリーンとした光を、演出したかったのです。

外部での展示を考え、扇風機の傘を芯に和紙を貼り、柿渋で仕上げました。

『無限』という手作り照明の作り方を基本に、ガラス玉やビー玉を使い、下方面に穴をあけることで、器具そのものを浮かび上がらせるために、下面の穴からの光は、ハート形にも蝶にも見えるものとなりました。

丁度、現場が忙しかったのですが、街並みに置かれることを想像しながら、2、3週間かかりましたが、楽しんで作りました。

全国大会の際に伺った、美濃和紙あ

かりアート館で、過去の優秀作品を見て、感動をしました。それと同時に自分の作ったものの世界観が、違っているのではないかと不安にもなりました。

点灯式は、とても感動的でした。この度、沢山の作品を見ることができ、来年も来てみたいと思いました。

懇親会の席で、会員の出展した作品のアンケート結果の発表があり、「優秀賞」「JIPA会長賞」をいただきました。

翌日の朝、作品の梱包をしていただき、返送をもらうよう段取りをし、バスの移動いる最中に、美濃市観光協会より「入選」の知らせを頂き、二重の喜びでした。

私の作品は、あかり展へ提供をする事になりました。

美濃和紙あかりアート館に飾られるのではないかと思います。

是非、ご覧ください。

来年も美濃和紙あかりアート展には、出展したいと思っています。

実り多き、充実した全国大会でした。中部の皆様のご協力で参加することが出来、心より感謝しております。

森 隆

JIPA 2016 IN CHUBU とき:10月8日～9日



今年の全国大会は中部インテリアプランナー協会がお世話くださいました。

からくり人形のご紹介を始め、おもてなし隊の皆様が着物姿で細やかなおもてなしをしてくださいました。椅子メーカー「ナゼロ」や、美濃和紙の見学とあかり展に参加してきました。当協会の森さんのあかりが出展され、素晴らしい賞を頂かれたことが何よりでした。

この感激は、当会の誇るべき出来事でした。翌日は知多半田の白壁の町の見学等、盛り沢山の内容で、全国の会員の皆様との交流も恒例となり、それぞれの活動の情報交換もでき、意義深い全国大会でした。

事務局

倉敷 / 近代建築「有隣荘大原孫三郎の建築意匠」 とき:8月30日



倉敷で近代建築「有隣荘大原孫三郎の建築意匠」と題した見学会が開催されました。国の登録有形文化財に登録され、設計・監督は西村伊作、竣工は1922（大正11年）で1階部分と鐘楼が石積みで出来ており尖頭アーチがモチーフとして窓や内装にも使われ、礼拝堂までの石畳のスロープが珍しい日本キリスト教団倉敷教会に行きました。昼食後、ノートルダム聖心女子大の上田恭嗣先生の解説で大原家の別邸として建てられた有隣荘の見学です。ここは以前見学不可でしたが現在年に2日だけ開館しているようで貴重な見学でした。設計は大原美術館も手がけている薬師寺主計で上田先生によると洋画家の児島虎次郎や建築家の伊東忠太が参加し非常に豪華な作りで当時大原美術館の5倍の費用がかかったと言われています。説明では有隣荘の誕生する時代背景や和洋中の建築意匠、伊東忠太と児島虎次郎の関係、アール・デコ様式との出会いや天皇家・宮家との関係性等に渡り楽しくも貴重なものでした。山口・広島・岡山・鳥取から14名での参加者はその後それぞれ美術館や白壁の街歩き等で自由解散となりました。夏の終わりで暑いにもかかわらず気持ち良い風が通り抜ける爽やかな一日でした。

熊本の震災を通じて思う

この度、熊本震災後の保険調査員として関わられた会員の方から感想を頂きました。

宇都宮建築設計事務所 宇都宮博明



甚大な被害をもたらした東日本大震災、その後の熊本地震、鳥取地震。
日本列島のあちこちから地震発生情報が聞かれます。
近い将来には、南海トラフ巨大地震の発生が危惧されており、万一発生した場合の被害想定は計り知れないものと思われま

す。
熊本地震の際、地震保険の損害調査に携わる事となり感じた事を書いてみます。
熊本ではM7クラスの地震が2回も発生しました。
多くの木造住宅、マンション、公共施設に至るまで広域で甚大な被害状況でした。
堅牢な熊本城の悲惨な姿は、正に象徴と思えました。

損害調査をしてみますと、住宅の大半は在来軸組工法の建物でした。基礎・屋根の棟・柱の割れ、壁のび割れ等の部分的な損害も多く見られました。
地震保険に加入の建物で、主要構部

の損害状況による認定（割合）は以下の通りとなります。
全損（100%） 大半損（60%） 半損（30%） 一部損（5%）

損害建物に掛かる修理費・再建費・購入費に対しての割合ではなく、入地震保険金額の一定の割合での払いとなり、勘違いされておられる方も多くいらっしゃいました。
家財については別の契約です。

へ「地方自治体から交付される「罹災証明書」の判定とは目的が異なります。
3ヶ月近くの滞在でしたが、建物への地震対策の重要性を改めて強く感じた調査体験でした。

「価値観の違いと生きるということ」 サンセバスチャン〜パリ〜熊本へ



昨年は、国内外で様々な経験をさせて頂きました。

ピレネー山脈の麓、トゥールーズの山の中で3日間合宿をさせて頂きました。
この村は世界中からエコロジストが集まっている場所です。ここに住んでいる人達、はおのおののサステイナブルなライフスタイルを楽しんでおられます。

そして、サンセバスチャンにおいて平和条約という定義の元で欧州文化都市イベントに「ひろしまから平和の調べを」のテーマで、4名の演奏家を同行して古い聖堂に新しい建物を融合した歴史博物館にての公演。パリでのジャパン・エキスポは約27万人の来場で大変な状況でしたが、その中でも大きな反響を呼び、沢山の方々から感動のお言葉を頂きました。

そして、日本に帰ってくるや否や、熊本の被災地に向き、4ヶ所にてチャリティコンサートを開催させて頂きました。被災地の方々にとって、音楽が大きな癒やしになったと涙ながらに喜んで頂きました。そんな被災地の方々を通じて若い演奏家も大きな学びを頂けた素晴らしい体験でした。芸術・文化は大変な状況になればなるほど大切になってくるのだと改めて感じさせて頂きました。そして、日本人が真の日本のスピリットを発信していくことが、どれだけ海外の方々に求められているかを。

日本の事を本当に分かっているのは、実は日本に住む私達だと・・・

坂 茂 講演会 In 山口

MU 設計コンサルタント 伊藤 晋司



パーマネントな建築とは？
建築とは誰のもの？

4月の話にはなるのですが、私が所属しています山口県建築士会の主催で、プリツカー賞受賞者の世界的建築家の坂茂先生に山口市にお越し頂き講演をして頂きました。講演に当たっては事務局の方々にも講演会のPRのお手伝いをお願いしましたので、会員の方々にも御案内が届いたのではないかと思います。御蔭様で、山口市という場所での開催にも拘わらず、広島大学工学部の生徒さんを始め、山口県外の方々にも多数お越し頂き、ありがとうございました。

講演会は前半が仕事について、後半がボランティアについての構成でした。講演は、坂先生の初期の作品からの講演となりますので、講演の中身も、とても濃いものでした。個人的には、限りある素材である鉄やコンクリートよりも、再生可能（リニューアブル）な素材としての木材利用を率先して試みている事、金物を多用して作られる大型木造建築物に対する疑問、そして継手、組手の可能性についての考察が興味深かつ

一方で坂先生と言えば、被災地支援等のボランティア活動や紙の建築がやはりフォークラスされる訳ですが、その辺りを踏まえて、後半は社会貢献の話がメインとなりました。その中でも話は建築に常に絡んでいて、パーマネントな建築とは何か？建築とは誰のものか？と建築に絡めて講演は進んでいきます。

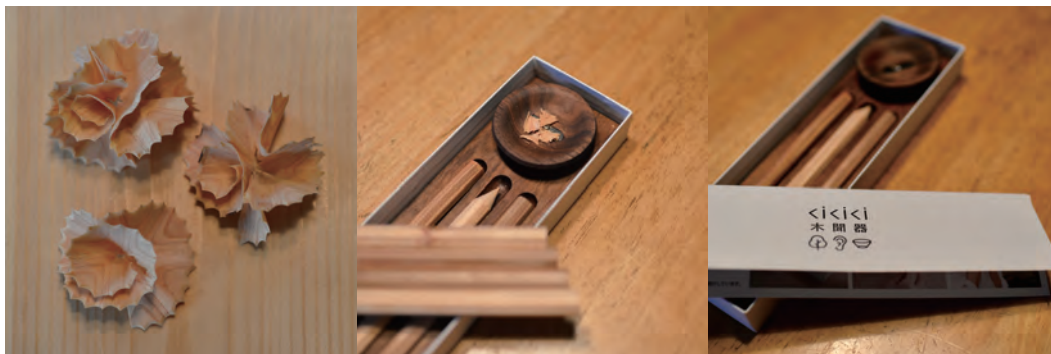
坂先生は被災地支援において一番大事な事は、先ず、自分達が現地に行って、何が最も適切なのか判断する事、気候条件や、経済状況、入手可能な素材、宗教上の問題、数多くの被災地支援に行ったが、毎回現地で判断し行動するしかない問題が発生するのだそうです。

その様な背景があつて、世界中どの場所でも入手可能な紙が、建築素材として優れている点を順序立てて説明され、中身の濃い講演はあつという間に終わりを迎えました。

世界的建築家が積み上げてきた、経験と理論が学習でき貴重な機会でした。建築に対する姿勢も含めて、とても学ぶ事の多い講演でした。

写真は坂先生と理事の中村さんと私で撮影させて頂きました。

木聞器 kikiki の紹介



NHK 朝の番組でも取り上げられた木聞器 kikiki は府中の銘木等で iPhone ケースやスピーカーを制作している松葉製作所がデザイナーとコラボした面白い商品です。

鉛筆のように削り器の着いた器のようなもので削り香りを楽しむものとか…。

<https://kikiki-japan.stores.jp>

フランス・ロマネスク建築紀行

エルイーオー設計室 中川裕二



ロマネスク建築の 宝庫はこの地方に あった！

ロマネスク芸術の宝庫フランスは、訪ねないと、向うからは中々やって来ない。そんな珠玉のロマネスク建築を辿りながら、この度はパリから350~550km南西部に有るボアトゥ・ヴァンデー地方、サントンジユ地方、ギユイエニュー・ペリゴール地方を5泊6日で廻りました。中世の魅力を満喫した素晴らしい旅でした。

朝早くパリ・モンパルナス駅にてレンタカーを借り（この度はコンパクトなCITROEN C3 Picassoと言う今注目のコンパクトMPVでディーゼルターボのマニュアルミッション仕様）南西へ高速道路を約350kmのポワティエへ向けて…。

丘の上に有るこの街は早くから軍事や商業で栄えノートルダム・ラ・グランド教会は12cに建設され、15c・16cに再建されているが、ロマネスクの雰囲気と魅力に溢れファサードの彫刻はロマネスクの主題に出てくる場面が描かれています。

サン＝ジャン洗礼堂は、小さいが見応え十分なフランス最古の洗礼堂です。中心部は4c頃に築かれたと言われ教会建築の最初の形つくつたものだと言われています。

この時代はノルマン族、ゲルマン族、西ゴート族等の血なまぐさい紛争が絶えなかったそうで、建物の中は洗礼のための8角形の沐浴場がありました。埋められ後には小さな洗礼盤に変わっていったそうです。

内部のフレスコ画も12・13cのものがよく保存され外観にも歴史的な様々な様式等が確認でき、小さな建物ですが、見るべきものが多く、時間を費やしてしまいました。

以前室内は写真撮影禁止だと書かれたものを読んだことが有りましたが…。

ポワティエから東へ約80kmのところサン＝サヴァンがあります。

2年前にここを訪ねたことがありましたが、お目当ての聖サヴァン修道院付属教会は改修中の中には入ることが出来ませんでした。しかもこの村の唯一のホテルは満室、たまたま居合わせた近所の仲良しおばさん4名が、少し離れている宿屋と、リーズナブルで美味しいレストランにも、わざわざ連れて行ってくださり、大変お世話になりました。

再度訪れたこの修道院付属教会は

世界遺産にも登録され修復も終えてピカピカに…。何だか苔むしたものを想像していただけにちよつと拍子抜けをしてしまいました。が、このフレスコ画（フレスコ画とテンペラ画の中間的な技法）は天井高く身廊の長さは42mで幅17m、高さ17mで、天地創造の物語や特にノアの箱舟は、最も有名な場面だそうです。

天井画は色数が少ないのが特徴で、壮大なこれらを見るには双眼鏡が必要だと思いました。

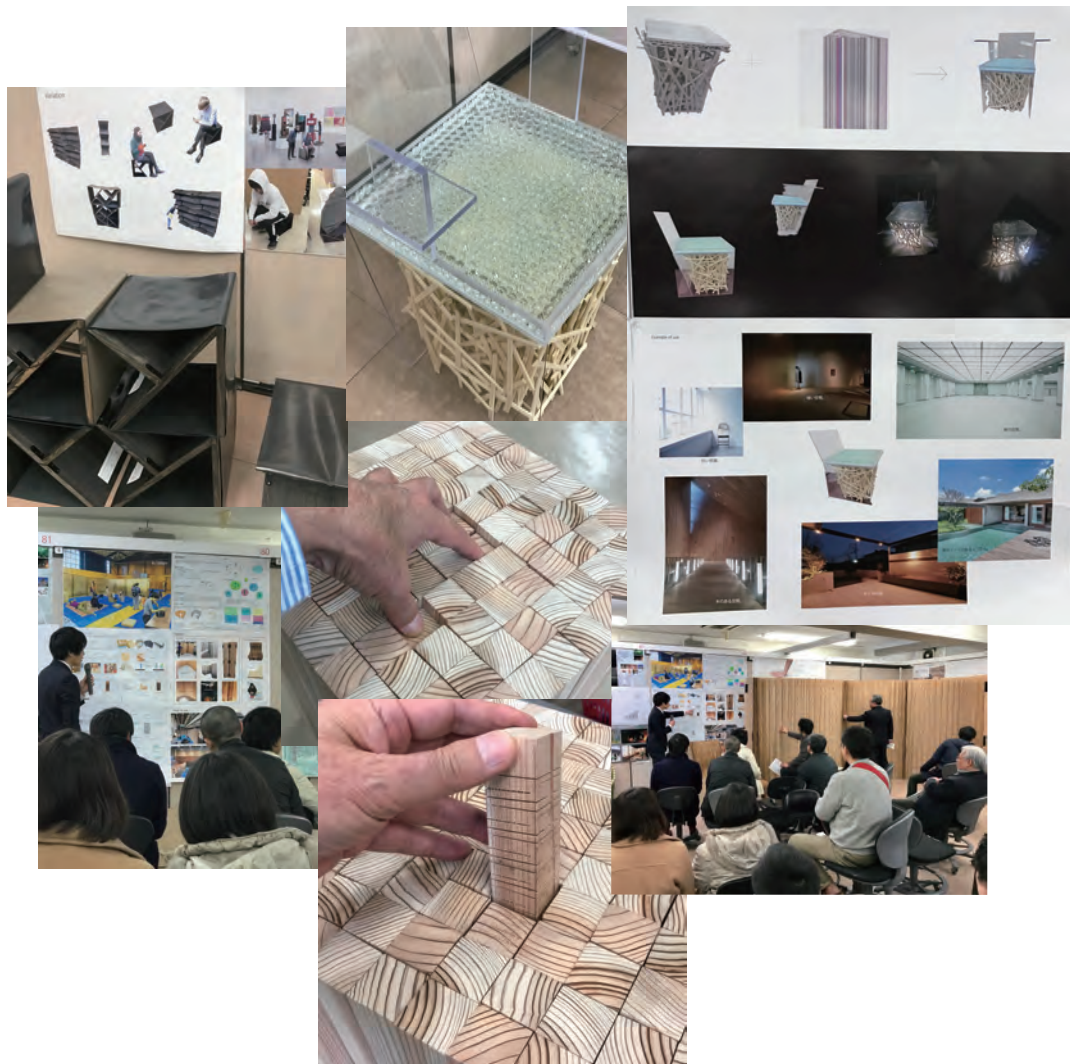
教会の尖頭部分は後で継ぎ足されたゴシック様式で、77mの高いもので周囲からも際立っています。

教会前の一つ星ホテルは事前に予約したのですが、どうやらおばちゃんとは娘とで経営してるようで、部屋もきれいに改修され安くて気持ちいいホテルでした。

明るいうちに以前行つたレストランへ再度行きましたら、何とこの村（アングル・シュール・ラングラン）はフランスの美しい村の一つに入っているとか…。取り敢えず予約を入れて村と城壁を散策しました。時間になったのでレストランへ行ってきましたが、ほんと美味しくてリーズナブルです。

何度でも訪ねたい場所でした。

H28年度 近畿大学建築学科卒業制作発表



H28年度 ミニレクチャー

	照明デザインの仕事 講師：山本 樹里 氏 (大光電機株式会社 中西国支店 広島 TACT) 講演会の開催について ★日時 2016.10/27 (木) 13:00-20:00 (受付 17:30~) ★主催 日本インテリア協会 中国・四国支部 中国インテリアプランナー協会	インテリア・模型制作 no.20 講師 Nデザイン代表 西村 正弘 氏 プロフィール 1990年 専門学校卒 91-44年 フトリエ勤務 その後フリーランスとして活動 今回は西村氏のミニレクチャーと実習として リビングルームと家具の模型作成を行います。 実習+ミニレクチャー 2016.02.27 (土) 13:00-17:00 (受付) 12:45 ~ 広島工業大学3号館 2F 201号室にて 主催 日本インテリア学会 中国・四国支部 中国インテリアプランナー協会 主幹 広島インテリア学生ネットワーク 
---	---	--

法人会員のご紹介

- ◆ 株式会社ウッドワン
<http://www.woodone.co.jp/>
- ◆ 大光電機株式会社
<http://www2.lighting-daiko.co.jp>
- ◆ 株式会社テックス
<http://tex-21.com>
- ◆ トーソー株式会社広島支店
<http://www.toso.co.jp/>
- ◆ 西武株式会社広島営業所
<http://www.seko.co.jp/>
- ◆ (株) 小城六右衛門商店
<http://www.ogirokuemon.com/>

■二次試験対策講座の開催！

個人指導にて素晴らしい合格率を誇っています。

今年度の講座からの合格者

常 永 洋 一 郎 様	3 名の方々が合格されました。
加 々 良 美 雪 様	おめでとうございます。
神 徳 香 子 様	皆様には会員として一緒に
	仲間になってくださいました。

■準会員、法人会員の募集！！

準会員は資格がなくても、ご興味有る方、一緒に活動して下さる方なら、どなたでも参加できます。

是非、お問い合わせください。

編集後記

還暦を過ぎ、これからの次世代に何を残していけるのだろうか。
建築もインテリアも環境も、平和も音楽も全てが同じサークルの中に存在している気がします。
どんどん緑が繋がり大きなサークルの輪となって・・・
今年の夏、広島の日銀において「平和と美術と音楽」という様々な国内外の団体が参加してのイベントが開催されます。
市民参加型のアートパフォーマンスも繰り広げられます。
是非、皆様、トンカチとノコとドリルを持ってご参加ください。

事務局

〈平成 28 年度 中国インテリアプランナー協会活動記録〉

2016.10.27 講演会：照明デザインの仕事

講師：山本 樹里（大光電機株式会社 中四国支店 広島 TACT）

2016.6.04 講演：「新素材の畳の特徴と和室のインテリアデザイン」

講師：正岡さち氏（島根大学教育学部教授）

2016.10.08～09 IP 全国大会 中部

2016.08.30 見学会 倉敷／近代建築「有隣荘大原孫三郎の建築意匠」

2015.11.19～20 HIROSHIMA DESIGN DAYS 2014

〈平成 29 年度 総会のご報告〉

6 月 10 日（土） 穴吹デザイン専門学校 A602

総会：14：00～15：00 講演：15：30～17：00 懇親会 18：00～

講演：「坂出人工土地の今と未来の記憶」

講師：藤井容子 香川島根大学）

- ・今年度役員の承認
- ・平成 28 年度活動報告及び会計報告
- ・平成 29 年度活動計画及び予算案の承認

平成 29 年度総会を上記の要領で開催致しました。

会員の皆様には、多数ご参加頂きありがとうございました。

インテリアプランナー試験と登録制度が変わりました。

主な変更事項等

- これまで一体として実施していた学科試験と設計製図試験を分離することにより、試験内容の充実を図ります。《これまでの試験時期（11 月）を学科試験（6 月）と設計製図試験（11 月）に分離します。》
- 受験者の年齢制限を撤廃し、学科試験の合格者はアソシエイトに、登録することにより「アソシエイト・インテリアプランナー（准インテリアプランナー）」の資格が付与されます。
- 設計製図試験は、原則として、学科試験に合格しなければ受験できなくなります。
- 受験者が学習しやすい環境を整備するとともに、受験手数料を引き下げます。
- インテリアプランナーの登録に必要な実務経験年数を「0 年又は所定の 2 年～6 年」から「0 年又は一律 2 年」に短縮します。

〈事務局より〉

■ 国民健康保険にご加入の方へ

CIPA 会員で加入条件を満たす方は、「文芸美術国民健康保険」に加入することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<http://www.bunbi.com>

■ 平成 26 年度インテリアプランナー試験対策用テキスト頒布

詳細はホームページでも確認できます。fax:06-6266-5745

<http://www.jipa.net/kipa>

発行：中国インテリアプランナー協会

〒731-5135 広島市佐伯区海老園 1-13-7

tel：090-7540-8975 fax：082-922-0018

<http://cipa21.com> mail：cipa@cipa21.com

発行日：平成 29 年 6 月

編集：中国インテリアプランナー協会 事務局

表紙写真：

ヴァレーズ / 聖ジェルマン教会 フランス南西部・サントンジュ地方（ポルドーの北側海岸地域）
扉口は二層のアーケードがこの地方（サントンジュ様式）の特色をよく出している。大外柱に天使が舞い、外側に大勢の人物が並び内側には美徳と悪徳の戦いが彫られ一番内側には十字架を背負った羊を天使たちが支えている図像が彫られている。

写真：中川 裕二